

## 展示室4 ミロの版画

2020年9月12日(土)～10月18日(日)

スペインのカタルーニャ地方に生まれたミロは戦前のパリでシュルレアリスムのグループに迎えられます。彼の自由に飛躍する発想の原動力は、生まれ故郷の風土にはぐくまれた感性であり、太陽、月、星、鳥などをモチーフに、自然との交感からインスピレーションを得て創作活動を行いました。画家として出発したミロは、彫刻や陶芸、詩の制作など活動の幅を広げていきます。版画に取り組んだのは30歳代になってからですが、その生涯に2500点を超える版画作品を残しました。1930年代に銅版画を始め、50年代からはリトグラフに取り組めます。「アトリエ17」のチャールズ・スタンリー・ヘイターによる一版多色刷りの銅版画技法や、ラクリエール版画工房におけるアクアチントやソフトグランドエッチング、60年代に開発されたカーボランダムなど多彩な技法と出会ったことは、細い描線、太い筆の線、ハーフトーンなどを自在に組み合わせることを可能とし、ミロの版画表現の幅は大きく広がります。さらに、ムルロ工房やアトリエ・マールグで色彩豊かなリトグラフを制作しています。

No.	作者名 (生没年)	作品名	サブタイトル	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
1	ジョアン・ミロ (1893-1983)	人物と赤い太陽 I		1950	リトグラフ・紙	57.5×42.0	
2		外国の女		1958	リトグラフ・紙	60.5×45.5	
3		星雲		1958	リトグラフ・紙	45.7×65.0	
4		森の番人 灰色		1958	アクチント・紙	49.5×32.0	
5		ユビュ王	(1) 扉絵-ユビュ誕生	1966	リトグラフ・紙	41.3×63.5	
6			(2) 宴会	1966	リトグラフ・紙	40.9×62.5	
7			(3) ポーランド王宮で	1966	リトグラフ・紙	41.3×63.0	
8			(4) 閱兵式	1966	リトグラフ・紙	41.0×63.2	
9			(5) ポーランド王の虐殺	1966	リトグラフ・紙	41.3×62.6	
10			(6) ブーグルラスとその母	1966	リトグラフ・紙	41.3×62.6	
11			(7) 落とし穴に落ちた貴族たち	1966	リトグラフ・紙	41.5×62.7	
12			(8) ロシア皇帝の宮殿にて	1966	リトグラフ・紙	41.8×62.9	
13			(9) 財宝とユビュおっ母	1966	リトグラフ・紙	41.5×62.8	
14			(10) 戦争	1966	リトグラフ・紙	41.5×62.9	
15			(11) 夜、熊	1966	リトグラフ・紙	41.6×62.8	
16			(12) ユビュ親父の眠り	1966	リトグラフ・紙	41.5×62.6	
17			(13) 帰還の旅	1966	リトグラフ・紙	41.5×62.5	
18		左へ		1966	エッチング、アクアチント、カーボランダム・紙	73.3×104.0(ペーパーサイズ)	
19		太陽の崇拝者		1968	エッチング、アクアチント、カーボランダム・紙	105.5×68.0(ペーパーサイズ)	
20		囚われた女		1969	アクアチント、カーボランダム・紙	73.5×57.0	寄託作品
21	ジョアン・ミロ	リトグラフ I	(1)	1972	リトグラフ・紙	32.0×25.8	
22			(2)	1972	リトグラフ・紙	32.0×26.0	
23			(3)	1972	リトグラフ・紙	31.9×26.5	
24			(4)	1972	リトグラフ・紙	32.0×53.5	
25			(5)	1972	リトグラフ・紙	31.8×25.5	
26			(8)	1972	リトグラフ・紙	32.5×50.0	
27			(9)	1972	リトグラフ・紙	34.0×51.7	
28			(11)	1972	リトグラフ・紙	32.3×31.8	
29			(13)	1972	リトグラフ・紙	34.0×26.8	
30		サラセン人と青い星		1973	エッチング、アクアチント、カーボランダム・紙	138.0×60.4	
31		展覧会のための版画		1973	エッチング、アクアチント・紙	63.0×90.8	寄託作品
32		鳥の間の盲人		1978	エッチング、アクアチント、カーボランダム、グラッタージュ・紙	107.0×75.5	寄託作品